

# けんしゅうしましよ

1号  
R6. 5. 16  
文責 北垣

道徳 主題名 自信を持って自分らしく  
中心内容項目 A-4 個性の伸長  
資料名 雨上がりの日のこと  
授業者 多治見 莉子

5月2日(月)5校時, 6年1組において, 提案授業が行われました。今年度, 目指す授業について, 授業参観を通じて理解を深める機会となりました。

## ◇テーマ発問に関わって◇

＜今回の授業では＞

- ひろしはどうやって自分の短所を乗り越えたのでしょう。
- ◎短所との戦い方を…
- これからどんな自分を作っていきたいか



- ・ひろしを通して自分の考えを述べる(投影)
- ・児童の思考の流れがスムーズでよかった。

＜中心発問のつくり方(例)＞【教師】

- ① 内容項目の吟味
- ② 児童の実態の精査「こう言いそうだな…」
- ③ 児童の思考の道筋を考える  
布石となる、導入、切り返し、教具、等の検討

＜児童自ら問いを立てるために＞

- ・児童が発問を作りロイロノートを活用して相互評価し合う。
- ・「ここから伝わることって何かな?」  
「物語が言いたいことって?」などの教師の声掛け

など、子どもたちが自ら問いを見つけ、言葉にできるように段階を踏んだ指導も大切。また、問いが芽生えていても言語化が難しい児童に対する配慮も欠かすことができない。

教材文について話しつつも、  
自分の生活  
例) 他教科の話、自分だったら  
がよく出ていて良かった。

児童の思考の中で

**教材の世界**

**自分ごと**

↑ 並列に並び、行き来する ↑



高学年では自分で問いを立て言葉で表現できそうな実態が見て取れた。教師から提示する中心発問ではなく、児童一人一人の問いを大切にしたい授業展開ができると、よりよいのでは。

## ◇伴走者の姿にかかわって◇

### ＜教材文範読後の感想交流＞

感想の中から教材文の内容のポイントとなることを引き上げていくことが大切。

教師が、

“押さえないポイント”とそこに導くための“切り返し”を用意しておく。

例①) ひろしとみずきの特徴を押さえない

そのための切り返しは…

「それぞれの短所長所って？」

例②) 自分を重ねて考えてほしい

そのための切り返しは…

「みんなはどう？」 等

そして、

感想交流で児童から出てきたらひろう。出てこなかったら切り返しで導く。

そうすることで、

- ・学習の流れに沿わない
- ・色々な話題が錯綜する

ことなく学習を進めていくことができる。

◎また、普段の学習（道徳に限らず）で児童のつぶやきや反応で進める流れや、教師の意図的な価値づけで児童主体の授業形態を意識させることも大切。

## ◇共通解と納得解◇

【共通解】課題に対して、皆で見つけた一定の望ましさ。

【納得解】課題に対して、個々の児童がたどりついた答え。

児童の思考が共通解に達している状態

⇒板書や教師の発言でまとめる必要なし

児童の実態や、授業の流れから、わかりやすく端的な言葉で整理した方がよいと思われる場合（低学年が多いと予想される）

⇒教師の言葉でまとめる。

板書する場合も考えられる。



### ■今後の予定■

5月22日（水）3時間目 岩井先生授業研（指導主事訪問一次、特設授業）⇒ 全体研

6月24日（月）【道徳】政野先生、【特支】大島先生 指導案検討 ⇒ 部会研

（7月1日～5日の間に授業日を設定）

7月 1日（月）佐藤先生指導案検討（指導主事訪問二次、特設授業）⇒ 全体研

7月 8日（月）【道徳】政野先生、【特支】大島先生 事後研 ⇒ 部会研

GIGA 授業研 事前説明 斉藤先生（全体）

（7月9日～19日の間に授業日を設定）